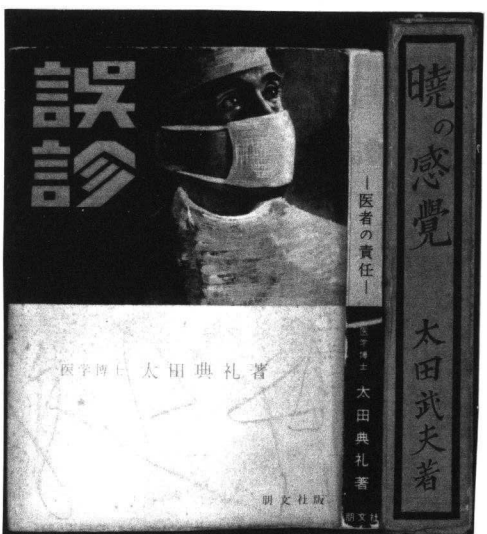


太田典禮 （おほい） 産婦人科醫、醫學博士。明治二十二年十月七日（京都）生れ、昭和六十年十一月五日歿（九〇一五）。初名武夫。大正十四年九州帝國大學醫學部卒。産兒調節運動の共鳴し、昭和七年遊妊具太田リングを發表。二十二年教養院議員となり、優生保護法の立案成立に盡力。五十年日本安樂死協會を設立、理事長。

- 著書『青年に教ふ』（太田武夫名、昭和十一年十一月二十三日建設社）
- 『性教育叢書』（）、『曉の感覺』（太田武夫名、昭和十二年一月十八日南光社）、『性の科學と倫理』（昭和二十二年十一月十五日文理書院）、『性科學』（昭和二十二年四月十五日二空書房「學藝叢書」）、『戀愛社會主義』（昭和二十二年十一月十日大阪・文林堂）、『産兒制限の正しい知識』（帆足計共著、産協・人口調節問題懇談會編、昭和二十四年十月五日日本産業協議會）、『ホーデン隨筆』（昭和二十八年八月一日太叢社）、『男性感覺・女性感覺』（合著、昭和二十九年九月一日鱗書房「おごろう新書」）、『獄中 青と赤―私は見た来た』（昭和二十二年一月）
- 『完全な男性』（昭和二十二年十月二十日妙義出版株式会社）、『誤診』（昭和二十五年六月二十日朋文社）、『完全な男性』（昭和二十二年十月二十日天黃書房）、『性の権利』（昭和四十五年一月二十一日二一書房「二一新書」）、『安樂死』（編著、昭和四十七年二月十日タリエイ卜社）、『反省医者の人生』（昭和五十五年二月二十七日現代評論社）、『無罪 教生をめぐらぬ論』（改訂増補）（昭和



五十五年五月、千日人間の科学社）、コエロスの周辺（昭和五十五年十一月十日人間の科学社）等。

大田典礼と徳ぶ会編『コスキコスキ』八十余年―大田典禮と徳ぶ（昭和六十年）二月八日太田リンドウ研究所）刊。